

令和元年度事業報告

● 基本方針

昨年は、アイヌ施策推進法が施行され、この法律に基づく新たな交付金を活用した事業が展開された。

法人の基盤となる第1類正会員（以下、地区協会）はもとより、地区協会本会員との連携を深めるため、小規模地区協会に出向き法人運営の健全強化に取り組んだ。

また、「民族共生象徴空間ウポポイ」の一般公開に向け、普及啓発活動を行うとともに、アイヌ施策推進法について、国民理解を得るために、国民を代表する国会議員への要請活動を行った。

アイヌ遺骨及び副葬品（全国12大学保管分）の慰靈施設への集約については、昨年11月2日に集約前のカムイノミ・イチャルパを執り行い、翌12月15日に集約後の鎮魂式並びに慰靈式（カムイノミ・イチャルパ）を実施した。

1. アイヌ施策推進法の法制理解と利活用
2. 生活向上施策及び文化振興施策の見直しと充実
3. 新法制定を踏まえた組織強化への取組
4. 新法制度の全国展開を見据えた道外アイヌの認定等

<2つの項目>

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

1 組織・活動強化の推進

1 要請活動等の展開

アイヌ施策推進法の施行後も先住民族アイヌに関する総合的なアイヌ政策を確実に推進していくため、超党派議員連盟『アイヌ政策を推進する議員の会（代表世話人吉川貴盛衆議院議員）以下、「国会議員連盟』をはじめとした国政や関係行政機関、マスコミなどに対し引き続き働きかけを行った。

「国連宣言」や「人種差別撤廃条約」についての国内理解が深まるよう、先住民族関連の国際会議などの情報を入手し、我が国における先住民族の認知がより一層定着する活動を継続した。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの協働による啓発・研修活動等を進め、人権啓発活動等に取組む（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動等の情報入手に努めた。

（1）「アイヌ文化振興法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各地区協会はもとより、各古式舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

（2）政府並びに各政党に対する働きかけ

アイヌ民族に関する新たな法律の制定に向けて、国民理解を得ることが重要課題であることから、あらゆる機会を通じて要請活動を行ってきたが、平成31年4月11日に衆議院本会議、

4月19日に参議院本会議で賛成多数で可決され、令和元年5月24日、第1条にアイヌが先住民族であることが明記された、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」（アイヌ施策推進法）が施行された。

○アイヌ政策を推進する議員の会へのお礼言上 令和元年11月7日、11月20日
○道内選出参議院議員へのお礼言上 令和元年11月7日

○政党等

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| ・ 鈴木宗男 衆議院議員 | 令和元年 6月 1日 (札幌) |
| ・ 鈴木貴子 衆議院議員 | 令和元年 6月 1日 (札幌) |
| ・ 松木けんこう 前衆議院議員 | 令和元年 6月 7日 (札幌)
令和元年10月28日 (札幌) |
| ・ 吉川貴盛 衆議院議員 | 令和元年11月25日 (札幌) |
| ・ 小川勝也 参議院議員 | 令和元年 7月23日 (札幌) |
| ・ 横山信一 参議院議員 | 令和元年 9月20日 (札幌) |
| ・ 勝部賢志 参議院議員 | 令和元年11月22日 (札幌) |
| ・ 徳永エリ 参議院議員 | 令和元年12月10日 (札幌) |

○関係省庁へのお礼言上等

- | | |
|----------------------|----------------|
| ・ 菅 義偉 内閣官房長官 | 令和元年6月29日 (白老) |
| ・ 石井啓一 國土交通大臣 | 令和元年8月 3日 (白老) |
| ・ 古谷一之 内閣官房副長官補 | 令和元年11月7日 (東京) |
| ・ 松永 明 特許庁長官 | 令和元年11月7日 (東京) |
| ・ 刀禰俊哉 内閣官房アイヌ総合政策室長 | 令和元年11月6日 (東京) |
| ・ 住本 靖 内閣審議官 | 令和元年11月6日 (東京) |

○北海道へのお礼言上等

- | | |
|--------------|---------------|
| ・ 鈴木直道 北海道知事 | 令和元年9月8日 (札幌) |
|--------------|---------------|

(3) 内閣官房主催の地域説明会への参加

内閣官房主催のアイヌ政策推進交付金に関する地域説明会が開催され内閣官房総合政策室職員により、市町村及び関係地区協会に対し、交付金制度についての説明、及び市町村等からの個別相談に応じた。

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| ・ 令和元年 6月12日 (木) | 札幌 |
| 7月 3日 (水) | 日高振興局 (新ひだか、浦河、えりも、新冠) |
| 7月 4日 (木) | 十勝総合振興局 (帯広、上士幌、芽室、本別、音更) |
| ・ " 7月 5日 (金) | 釧路総合振興局 (釧路、弟子屈、標津、白糠、羅臼) |
| ・ " 7月 9日 (火) | 胆振総合振興局 (八雲、長万部、室蘭、伊達、登別、白老、むかわ) |
| ・ " 7月12日 (金) | 上川総合振興局 (豊富、旭川、遠軽、上川、東川、名寄) |

(4) 象徴空間整備に関する施策の推進の働きかけ

2020年4月開設となる象徴空間の整備、管理運営については、「有識者懇談会報告書」で提言されているとおり、今後のアイヌ政策は、先住民族であるアイヌの文化の復興に配慮すべき強い責任が国にあるという認識に基づき、国が中心となり担うべきであることを強く国に働きかけた。

①民族共生象徴空間ウポポイの認知度の向上

民族共生象徴空間ウポポイの開設に向け、国や道、市町村、地区協会と連携協力し、ウポポイの啓発パンフレット等広報資材を、公共施設や商業施設の利用者に配付したほか、公共施設等に配架、留置きをお願いし、ウポポイに対する国民理解、認知度の向上に努めた。

(5) 遺骨・慰靈について

アイヌ人骨の返還・集約等については、これまでの理事会を経て方針を定め、総会において決議されたところであり、遺骨承継者に返還できる遺骨を除き、速やかに当該施設に集約し、一刻も早く尊厳ある慰靈体制を確立することを求めた。

アイヌ遺骨及び副葬品（全国12大学保管分）の慰靈施設への集約については、昨年11月に集約前のカムイノミ・イチャルパを執り行い、12月には集約後の鎮魂式並びに慰靈式（カムイノミ・イチャルパ）を実施した。

①国立の慰靈施設アイヌ遺骨等集約前カムイノミ・イチャルパ

・令和元年11月2日 白老町慰靈施設

全国12大学関係者、道内自治体関係者、アイヌ協会役員並びに地区協会代表75名が参加し、アイヌ遺骨及び副葬品の集約にかかるカムイノミ・イチャルパを実施した。

②アイヌ遺骨及び副葬品（12大学保管分）の慰靈施設集約後の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパ

・令和元年12月14日 白老町慰靈施設

慰靈施設にアイヌ遺骨が集約された後の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパを実施し、大学関係者やアイヌ協会役員、地区協会長のほか、道内外から参列をいただいた。

③北海道博物館におけるイチャルパへの協力（主催者：北海道博物館）

・令和2年2月17日 北海道博物館1階ロビー（協力：千歳アイヌ協会）

④研究のあり方学協会等三者円卓会議（3学協会共同RT）

研究成果の社会還元並びに3学協会協議等の周知を目的にしたシンポジウムを実施した。

また、研究のあり方学協会等三者円卓会議において、人類学や考古学等の研究成果が分かりやすく、一般及びアイヌの方々に伝える概説書の作成について検討した。

○三学協会共催公開シンポジウム

・日時 令和2年1月26日

・場所 法政大学

(6) 農林漁業対策の推進

農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、引き続きアイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度理解に努めた。

(7) 住宅対策の推進

住宅の改善を促進するため、継続的な予算措置を求めた。

（8）先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

① 法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発」への協力をするとともに、イランカラブテキャンペーンなどの啓発事業や各種人権啓発資料の活用などにより、人権思想の普及・啓発に努めた。

② アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集につとめた。

アイヌ協会活動に関する理解、アイヌ史の正当な位置づけを求めるため、歴史学研究会、日本考古学協会、日本文化人類学会、日本人類学会などの各種学会や北海道大学「アイヌ・先住民研究センター」へ働きかけ、「アイヌ学」や「アイヌ史」の構築に向けて、協力、連携を進めた。

③ 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について

「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点で王子製紙と日本製紙、住友林業が実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。

また、緑の循環認証会議（SGEC/PEFCジャパン）がSGECのアイヌ民族に対するFPIC（自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意）実施の手引き作成のため、その記載内容について、関係機関からの情報収集、調整をはかる一環として打合せを行った。

（9）伝統的生活空間再生の働きかけ

イオル推進ネットワーク会議に参加し、情報の共有と今後の空間整備のあり方について協議した。

日 時：令和2年2月6日（木）

場 所：水産ビル

（10）自主的啓発活動の推進

平時、内外からの照会に応じて啓発活動の推進に努めた。

あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。

（11）ホームページの充実

当法人のホームページをリニューアルし、アイヌ協会の活動方針や各種資料、最新の情報提供に努めた。

また、新規会員募集についての情報提供を行った。

（URL：<http://www.ainu-assn.or.jp>）

（12）「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。

（13）道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ

総合的なアイヌ政策を推進していくため、関東域の関係団体・個人と連絡を密に情報を共有を行った。

また、東京オリンピック・パラリンピックにおけるアイヌ文化発信プログラムの企画検討に関東域の関係団体とも連携した。

(14) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携
同センター実施事業への協力をを行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。

(15) 北海道博物館（アイヌ民族文化研究センター）とも連携を密にし、事業の推進に協力した。

(16) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究
教科書等の記述について情報収集につとめた。

(17) 教育相談員の配置等
既存の北海道教育庁、市教育委員会に配置されている教育相談員と協力・連携し、地元の意向に即した支援を行った。
また、現在、アイヌ子弟に対する学習支援活動を行っている地区協会関係者の参加の下、各地区協会における取組の現状把握と今後の在り方について論議し、今後の充実に繋げるべく「学習支援推進打合せ会議」を開催した。

- ・開催日時等
第1回 令和2年2月14日 第2回 3月23日 札幌
- ・参考地区
札幌アイヌ協会、伊達アイヌ協会、千歳アイヌ協会

(18) 図書・刊行物等の過誤対応
図書、各種出版物や観光資料などの記述に過誤があった場合は、速やかに改善を求めていくとともに、観光バスガイドキリストの有効活用、（公社）北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化分科会」など関係機関と連携、協力しながら正確な知識の普及に努めた。

2 組織の強化

(1) 団体会員等との連携強化

アイヌウタリが一致団結し運動を展開するため、過去の不祥事を教訓に二度とくり返さぬよう常に心に刻むこととし、各地区協会（団体）や会員（本会員）への情報提供や共有を図りつつ、組織運営に努めた。

各地区協会の総会、役員会等に出向き事務・会計などの相談に応じつつ、地区別懇談会を開催してきた。

また、「会員研修事業」や「アイヌ協会役員研修・連携会議」を有効に活用し、会員の意識の向上と組織連携や強化を図った。

さらに、小規模な地区協会等を訪問し、ウポポイ等アイヌ政策の推進状況等を説明するとともに、地区協会活動の現状と課題等について伺い、相互に情報共有と連携協力を図り、組織強化に努めた。

＜参加地区、出席役員一覧表＞

※各地区協会からの通知、報告もとに掲載

期 日	行 事 名	出席役・職員
平成31年 3月31日(火)	帶広アイヌ協会総会	
4月 2日(火)	標津アイヌ協会総会	
4月 7日(日)	千歳アイヌ協会総会	
4月 7日(日)	上士幌アイヌ協会総会	
4月14日(日)	新冠アイヌ協会総会	
4月14日(日)	白糠アイヌ協会総会	
4月14日(日)	平取アイヌ協会総会	
4月14日(日)	えりもアイヌ協会総会	
4月14日(日)	むかわアイヌ協会総会	
4月20日(土)	苦小牧アイヌ協会総会	
4月20日(土)	浦河アイヌ協会総会	
4月20日(土)	厚真アイヌ協会総会	
4月20日(土)	浦幌アイヌ協会総会	
4月21日(日)	三石アイヌ協会総会	
4月25日(木)	釧路アイヌ協会総会	
4月26日(金)	弟子屈アイヌ協会総会	
4月26日(金)	阿寒アイヌ協会総会	
4月26日(金)	白老アイヌ協会総会	
4月28日(日)	様似アイヌ協会総会	
4月28日(日)	芽室アイヌ協会総会	
4月28日(日)	新ひだかアイヌ協会総会	

期日	行事名	出席役・職員
令和元年 5月11日(土)	新ひだか 第6回シベチャリ武四郎まつり	
5月12日(日)	日高地区アイヌ協会連合会総会	
5月12日(日)	室蘭アイヌ協会総会	
5月18日(土)	登別アイヌ協会総会	
5月19日(日)	幕別アイヌ協会総会	
5月19日(日)	札幌アイヌ協会総会	
5月30日(木)	様似 イチャルパ	
6月 2日(日)	新ひだか 第31回イチャルパ	
6月16日(日)	標津 第10回標津イチャルパ	理事長
6月22日(土)	平取アイヌ協会青年部第9回ウレクレク	
6月23日(日)	苫小牧市美術博物館カムイノミ・イチャルパ	
7月 2日(火)	江別アイヌ協会総会	
7月 6日(土)	阿寒 第3回カパチエフ(ヒメス) 祭	
7月 7日(日)	長万部 先祖供養祭	
7月20日(土)	豊浦 カムイノミ・イチャルパ	
7月21日(日)	苫小牧 丸木舟川下り	
7月21日(日)	網走 チパシリアイヌイチャルパ祭	
7月27日(土)	八雲 第3回カムイノミ・イチャルパ	
8月 4日(日)	白糠 第41回ふるさと祭	
8月 4日(日)	むかわ 第25回アイヌ碑カムイノミ	
8月11日(日)	白老 第15回白老アイヌ碑慰靈祭	
8月24日(土)、25日(日)	釧路 第48回コタン祭り	
8月25日(日)	むかわ 第36回碑前祭	
8月29日(木)	阿寒 第30回阿寒町納骨堂イチャルパ	
9月 1日(日)	千歳 アシリチエノミ	理事長
9月 1日(日)	白糠 第24回フンペ祭	
9月8日(日)	十勝 第2回十勝川アシリチエップノミ	
9月15日(日)	根室 第46回ノッカマップ・イチャルパ	
9月15日(日)	苫小牧 第13回カムイチエップノミ	
9月18日(水)	恵庭アイヌ協会総会	
9月18日(水)	新冠 第37回イチャルパ	

期日	行事名	出席役・職員
9月22日(日)	網走 第18回カムイチエップ祭	
9月22日(日)	釧路 第38回カムイチエップ祭	
9月23日(月)	第73回シャクシャイン法要祭	理事長
10月 6日(日)	三石 第26回イチャルパ	
10月13日(日)	むかわ 第28回シシャモ・カムイノミ	
10月27日(日)	浦河 パセオンカムイカムイノミ	
11月 2日(日)	白糠 第40回ししゃも祭	
令和2年1月12日(日)	千歳 アシリパノミ	
1月26日(日)	むかわ 穂別地区アシリパカムイノミ	
2月 2日(日)	むかわ 第26回チセコロカムノミ	
2月 5日(水)	網走アイヌ協会	佐藤・須貝
2月 5日(水)	斜里アイヌ協会	佐藤・須貝
2月 6日(木)	美幌アイヌ協会	佐藤・須貝
2月 6日(木)	るべしえアイヌ協会	佐藤・須貝
2月16日(日)	平取 第31回シリムカアイヌ文化祭	
2月20日(木)	長万部アイヌ協会総会	理事長
2月22日(日)	八雲アイヌ協会総会	
2月26日(水)	釧路町アイヌ協会	佐藤・須貝
2月26日(水)	厚岸アイヌ協会	佐藤・須貝
2月26日(水)	根室アイヌ協会	佐藤・須貝
2月27日(木)	鶴居アイヌ協会	佐藤・須貝
2月27日(木)	弟子屈アイヌ協会	佐藤・須貝

(2) アイヌ施策推進法によるアイヌ施策の推進

アイヌ施策推進法に基づく施策の推進に国民理解を深めていただくため、国民を代表する国会議員にご理解とご協力をお願いした。

(3) 国際文化交流事業の推進

青少年の海外研修事業が平成24年度からアイヌ文化財団の直轄事業として創設されたことから、この事業への協力、会員子弟への参加奨励など、組織強化につながる人材育成事業の取組みを支援した。

(4) 会員研修事業

「会員研修会」 3月14日、15日

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先と考え開催を中止した。

(5) 地区別懇談会の開催

「アイヌ施策推進法」の活用や協会活動などへの理解と参加促進、団体活動の活性化と団体組織の強化を図るため、各団体が抱えている課題や実情に応じた地区別懇談会を開催した。

地 区	日 程	場 所	内 容
日高 (合同)	令和2年2月9日(日) 13:30-15:30	新冠町役場 本町多目的 交流センタ ー	(1)アイヌ施策推進法等の取組み状況 と今後について (2)その他 (3)意見交換

(6) 青年女性対策の推進

「青年・女性の集い」3月21日、22日

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先と考え開催を中止した。

(7) 各種相談員の合同研修会などの実施

会員の生活・経済の向上と団体活動の活性化を図るため、生活・職業・教育相談員、さらに経営改善普及指導員による合同研修会を開催した。

アイヌ関係各種相談員研修会

- ・日 程：令和元年7月8日(月)～9日(火)
- ・場 所：札幌市(かでる2・7)
- ・参加者：生活相談員、職業相談員、教育相談員 40人
- ・内 容：実務研修、グループ討議、情報提供等

講演「相談員のためのアンガーマネジメント講座」

長縄史子氏(一般社団法人日本アンガーマネジメント協会理事)

情報提供「アイヌ施策推進法について」

内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室

(8) 連帯意識の高揚

各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。また、償還が滞っている地区協会と連携し償還督促に努めた。

(9) 生活館活動の充実

生活館活動については、各地区独自の活動実施にとどまった。

(10) 市町村への働きかけ

アイヌ施策推進法に基づく新しい交付金事業について情報共有と連携を図った。

また、市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう働きかけた。

(11) 財政基盤の強化

会費収入は減少傾向(本会員の減)にあり、賛助会員、寄付金などの自主財源の確保に努めた。

3 会務の運営

(1) 理事会、アイヌ協会役員研修・連携会議の開催

総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回程開催した。

＜理事会＞

回 数	開 催 日	場 所
第 1 回	平成 31 年 4 月 24 日 (水)	札幌市
第 2 回	令和元年 6 月 26 日 (水)	札幌市
第 3 回	令和元年 9 月 9 日 (月) 10 日 (火)	札幌市
第 4 回	令和元年 12 月 10 日 (火)	札幌市
第 5 回	令和 2 年 1 月 29 日 (水)	札幌市
第 6 回	令和 2 年 3 月 15 日 (日)	※新型コロナウィルス感染症関連対応のため、書面表決

＜役員研修・連携会議＞

回 数	開 催 日	場 所
第 1 回	平成 31 年 4 月 23 日 (火) 24 日 (水)	札幌市
第 2 回	令和元年 6 月 25 日 (火) 26 日 (水)	札幌市
第 3 回	令和元年 9 月 9 日 (月) 10 日 (火)	札幌市
第 4 回	令和元年 12 月 9 日 (月) 10 日 (火)	札幌市
第 5 回	令和 2 年 1 月 28 日 (火) 29 日 (水)	札幌市
第 6 回	令和 2 年 3 月 14 日 (土) 15 日 (日)	※新型コロナウィルス感染症関連対応のため、書面表決

(2) 監事の監査機能の充実など

公益法人移行後の令和元年度の執行部の業務や一般会計、特別会計の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・監事会計監査：令和元年12月20日、令和2年4月24日
- ・公認会計士監査：令和2年4月24日

2 事業の推進

(1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

①広報紙「先駆者の集い」の発行

年3回（B5版p.8）各4,500部発行。協会団体会員本会員、賛助会員や行政機関、研究者等に無料配付した。

②ホームページによる情報発信

当協会ホームページを改新し、先住民族アイヌの情報（組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等）を発信した。

③印刷物の発行

アイヌ協会の活動を紹介する「アイヌ民族の概説（B5版）」を作成した。

④「2019年 国際先住民族の日記念事業」の開催

「国際先住民族の日」制定趣旨とアイヌ民族の歴史・文化・現状についての啓発事業を実施した。

・日 時：令和元年8月9日（金）13:30～16:30

・場 所：札幌国際ビル8階 国際ホール

・参 加 者：一般道民及びアイヌ協会員 70人

・内 容：第1部

　　講演1 「アイヌ施策推進法（法第16条関係）

　　国有林野における共用林野の設定について」

　　林野庁北海道森林管理局 総務企画部企画課長 上野真一

　　講演2 「SGEC/PEFC-Japan 森林認証規格の整備状況について」

　　（一社）緑の循環認証会議 SGEC/PEFCジャパン

　　理事・事務局長 梶谷辰哉

　　講演3-1 「FSCジャパン森林管理新規格について」

　　日本森林管理協議会FSCジャパン 指針・規格コーディネーター

　　三柴 ちさと

　　講演3-2 「FSCジャパン森林管理新規格とFPICについて」

　　日本森林管理協議会FSCジャパン 理事（社会分野）内藤大輔

第2部

司会進行

　　川上豊幸氏（熱帯林行動ネットワーク運営委員）

認証制度への提言等

　　「先住民族アイヌから観た国際森林認証制度の活用」

　　佐藤幸雄（北海道アイヌ協会事務局長（特定課題担当））

意見交換・質疑応答

⑤アイヌ文化発信プログラム事業

2020年に開催される「東京五輪」でアイヌ文化を世界に向けて発信することを目的に道内

各保存会及び関東4団体、道内外の文化伝承活動を行っている任意団体から構成する「アイヌ文化発信会議」の決定のもと、演示構成の検討、サブリーダー及びボーカルチームの養成、公演による周知啓発活動を行った。

また、養成されたサブリーダーを地域に派遣し、地域連携指導として演示構成案に基づく舞踊指導について、見本映像DVDを制作配布し指導を行った。

○文化発信会議の開催

日 時		
第1回 令和2年3月11日中止	かでる2・7	・コロナウイルス感染拡大防止措置のため中止

○サブリーダー会議（練習会）

日 時	場 所	内 容
第1回 令和元年5月11日～ 12日	阿寒湖温泉 緑町生活館	アイヌ歌舞の実技指導、コーチング、指導に関する指導、ロールプレイ等
第2回 令和元年6月15日～ 16日	帯広市生活館	同上
第3回 令和元年7月13日～ 15日	秋田県 わらび座	コーチングに関する座学・舞踊指導、ヴォイストレーニング、ワークショップ等
第4回 令和元年8月17日～ 18日	平取町二風谷	チプサンケ公演の練習、リハーサル、公演
第5回 令和元年9月28日～ 29日	札幌大学	アイヌ歌舞の実技指導、コーチング、指導に関する指導、ロールプレイ等
第6回 令和元年10月8日～ 10日	阿寒湖温泉 緑町生活館 アイヌシアターイコロ	まりも祭り公演の練習、リハーサル、公演 アイヌの歌舞の実技指導、コーチング等
第7回 令和元年11月11日～ 12日	アクセスサッポロ 中島体育センター	各地域の会員等に対する舞踊指導、フォーメーション指導、コーチング等
第8回 令和2年2月10日～ 12日	登別万世閣	オリパラ文化発信尾状況報告及び今後の取組について、地域連携指導について

○ボーカルチームの養成

日 時	場 所	内 容
第1回 令和元年5月11日～ 12日	阿寒湖温泉 緑町生活館	アイヌの歌の座学、聴き取り、実技指導等
第2回 令和元年6月16日	帯広市生活館	同上
第3回 令和元年8月17日～ 18日	平取町二風谷	チプサンケ公演の練習、リハーサル、公演
第4回 令和元年9月28日	札幌大学	アイヌの歌の座学、聴き取り、実技指導等
第5回 令和元年11月11日	アクセスサッ ポロ	アイヌの歌の座学、聴き取り、実技指導等

○カムイノミチーム

日 時	場 所	内 容
第1回 平成31年4月16日	かでる2・7	オリパラ開会式等におけるカムイノミに関する打合せ
第2回 令和元年11月11日	アクセスサッ ポロ	スタジアムを想定した演示構成上のカムイノミ試行 動きの確認等

○サブリーダーの取組に係る地域説明会

地 域	日 程	会 場	内 容
東京会場	平成31年4月14日	アイヌ文化交流 センター	東京2020オリパラに向けた文化発信の今 後の進め方 情報共有及び意見交換等

○ラグビーW杯ホストシティパフォーマンスでのアイヌ古式舞踊披露

日 時	場 所	内 容
令和元年9月22日	札幌ドーム	キックオフ前のセレモニーでサブリーダーによるアイ ヌ古式舞踊披露 ※前日9月21日に練習会を実施。

○地域連携指導

日 時	場 所	内 容
令和元年12月7日	日高判官館青年の家	演示構成案に基づく舞踊について連携指導
令和元年12月8日	ピリカコタン	
令和元年12月15日	ビジョンセンター東京駅前	
令和元年12月15日	浦河町東町ふれあい会館	
令和2年1月13日	帯広市生活館	
令和2年1月18日	中標津町総合文化会館	
令和2年1月19日	ウレシパチセ	
令和2年1月25日	旭川市市民生活館	
令和2年1月26日	苫小牧市総合体育館	
令和2年2月15日	旭川市市民生活館	
令和2年2月23日	ピリカコタン	
令和2年2月24日	中標津町総合文化会館	

＜要請活動＞

○橋本聖子東京オリンピック担当大臣への要請

要請日：令和元年11月6日（水）於 東京 大臣室

要請者：加藤理事長、秋辺監督

要請内容：東京2020オリンピック開会式等でのアイヌ文化発信について要請書を手交

（2）各種貸付金の貸付

福祉（緊急使途支援）、環境整備（浴室、墓碑整備）、入学一時（大学、私立高校、専修学校）を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、使途に応じて各種貸付を行った。

①福祉資金（緊急に生活資金が必要となった者への貸付／無利子・年度内償還）

・貸付限度額10万円以内 26件（2,600,000円）の活用があった。

②環境整備資金（浴室・墓碑整備に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は貸付日の属する年度末迄。その期間経過後2年以内の償還）

○浴室整備資金

- ・貸付限度額20万円以内 1件 (158,000円)

○墓碑整備資金

- ・貸付限度額30万円以内 1件 (150,000円)

の活用があった。

③入学一時資金（大学・私立高校・専修学校の入学時に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は各資金種別の修業年限以内経過後3年以内）

○大学入学一時資金

- ・貸付限度額30万円以内 2件 (500,000円) の貸付を行った。

○私立高校一時資金

- ・貸付限度額20万円以内 1件 (129,000円) の貸付を行った。

○専修学校一時資金

- ・貸付限度額30万円以内 0件

（3）職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

- ・就職支度資金23,760円 0件
- ・技術習得資金50,000円以内 10件 (500,000円) の給付を行った。

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

- ・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。
- 延べ346日間の活動で416件の相談を受理、91件の就職・求人に結びつけた。

令和元年度活動実績は次のとおり。

項目		月別													計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1. 活動日数		28	30	29	28	27	30	30	30	30	30	30	24		346	
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数		37	42	29	30	26	34	30	40	35	42	38	33		416
	有効求職者		27	29	21	24	19	28	22	29	30	31	30	25		315
	新規学卒者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	その他		10	13	8	6	7	6	8	11	5	11	8	8		101
	2) 事業所相談件数		0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1		9
	一般求人		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0		2
	新規学卒者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	その他		0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1		7
	3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次		8	8	6	8	6	9	7	6	7	6	6		81
		求人取次		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1
4. 職場適応指導件数		2	4	3	1	3	3	2	4	2	6	0	2		32	
5. 安定所に取り次いだ求人 情報のうち求人受理件数 (求人数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
6. 就職に至った件数		13	13	6	7	4	5	6	7	6	7	8	9		91	

③アイヌ中小企業経営改善指導事業

アイヌ事業者の事業活動の促進と経営安定化を図るため、個別指導を実施した。

④アイヌ施策広域相談事業

アイヌの人たちからの教育や文化の保存・伝承、生活と雇用の安定といった相談等に応じるため、広域相談を配置し、アイヌ施策全般にわたる相談事業を実施した。

⑤アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民工芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民工芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験、販売などによる「民芸品展示・販売会」を開催した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和元年 10月11日(金) ～ 14日(月)	体験講師 石井美香、貝澤竹子 実演展示 藤原スエ子(カイザー) 荒木 繁(あらき熊木彫製作所) 山田祐治(やまだ民芸社) 古式舞踊の公演 浦河アイヌ文化保存会 販売者 カイザー、荒木繁、山田祐治、吉田信男
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和元年 11月 8日(金) ～ 11日(月)	体験講師 長縄由加利、藤原スエ子(カイザー) 実演展示 貝澤竹子 吉田信男(木ぼりの吉田民芸) 山田祐治(やまだ民芸社) 古式舞踊の公演 白老民族芸能保存会 販売者 貝澤竹子、吉田信男、山田祐治、荒木繁
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和2年 2月14日(金) ～ 17日(月)	体験講師 長縄由加利、石井美香 実演展示 貝澤竹子 荒木 繁(あらき木彫熊製作所) 吉田信男(木ぼりの吉田民芸) 古式舞踊の公演 白老民族芸能保存会 販売者 貝澤竹子、荒木繁、吉田信男、山田祐治
東京都	THE COVER NIPPON TOKYO	令和元年 11月 1日(木) ～ 30日(金)	実演展示 荒木 繁 (11/2-4) 間宮喜代子 (11/10-11、11/24-25) 吉田信男 (11/16-18)

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

＜道外研修＞

国立民族学博物館に外来研究員としての受け入れを依頼し、アイヌ工芸者の技術向上とアイディアの開発、さらにはアイヌ工芸品の振興発展を目的に研修を行った。

- ・研修期間：令和元年11月25日～12月10日（16日間）
- ・参加者：小美浪フミ（白老）／廣川和子（帯広）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

＜道内研修＞

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・研修期間：令和2年1月～3月
- ・講 師：①技術指導（刺しゅう）優秀工芸師 宮田初枝
" (木彫) 優秀工芸師 貝澤 守
②経営セミナー 中小企業診断士 佐々木伸
- ・参加者：吉根憲一（帯広）／廣川昌嘉（帯広）
内山藤子（白糠）／山崎良子（新ひだか）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

(4) 民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

①アイヌ伝統工芸展開催事業

- ・期 間 令和2年2月8日（土）～12日（水）
- ・場 所 かでる2・7 1階展示ホール
- ・参加地区数 9地区協会（37人）
- ・出品数及び 伝統工芸品部門 26点 一般工芸品部門 56点 計82点
- ・審査委員 元道立近代美術館学芸部長 浅川 泰
 北海道立総合研究機構工業試験場研究主幹 日高 青志
 （敬称略） 北海道大学アイヌ先住民研究センター准教授 山崎 幸治
 北海道テキスタイル協会会長 戸坂 恵美子
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 宮田 初枝
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 貝澤 徹
- ・受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作品名	地区名	氏 名	作品名	地区名	氏 名
最優秀賞 （※1）	カパラミブ（木綿衣）	札幌	阿部 紘美	タペストリー	白老	河岸 洋美
優秀賞 （※2）				エムシアックのバック	白老	平田 早苗
優秀賞 （※3）	イナウソ（模様つきのゴザ）	平取	川上ききょう			
優秀賞 （※4）	樺太文様のマンタリ（前掛け）	標津	西山美紀子	キナ編みのバック	白老	吉国 幸子
奨励賞	イタ（丸盆）	帶広	廣川 昌嘉	手さげ Bag	浦河	深澤みよの
同	ルウンペ（木綿衣）	白老	小美浪フミ	樺太アイヌ刺しゅうバック	札幌	斎藤 芳子
同	花ゴザ	札幌	竹内 明美	コタンコロカムイ	白老	山田 祐治
同	マタンプシ（鉢巻き）	札幌	荒木ハル子	テーブルセンター	札幌	阿部 紘美
同				ベスト	平取	二谷 文子
同				タペストリー	札幌	小川カヨ子

※1 最優秀賞（北海道知事）

※2 優秀賞（北海道議会議長）

※3 優秀賞（北海道教育委員会教育長）

※4 優秀賞（かでる賞）

②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業（道教委委託事業）

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 5会場（札幌/白老/むかわ/帶広/釧路）
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 5会場（札幌/苫小牧/白老/むかわ/釧路）
- ・アイヌ民俗文化財総合伝承講座 1回（札幌）
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示 ※新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止

③松浦武四郎北海道命名150年記念・アイヌ民族文化祭2019

民族文化の伝承と発展を図るため、「アイヌ民族文化祭2019」を開催した。

◆開催日時：令和元年9月22日（日） 13:00～16:00

23日（月祝） 9:20～14:30

◆開催場所：新ひだか町公民館「多目的ホール」

◆入場者数：330人

◆内 容：<第1日目> 13:00～17:00

来賓挨拶 衆議院議員 山岡達丸
北海道議会議員 金岩武吉
北海道アイヌ政策監 長橋 聰
共催挨拶 新ひだか町長 大野 克之
長万部町長 木幡 正志

文化公演 I アイヌ古式舞踊

- ・静内民族文化保存会
- ・千歳アイヌ文化伝承保存会
- ・鶴川アイヌ文化伝承保存会

文化公演 II

紙芝居 武四郎物語
・紙芝居師 三橋とら

講演

- ・講師 山本 命（松浦武四郎記念館）
「アイヌ民族と松浦武四郎」
- ・講師 市毛 幹幸（札幌大谷中学校・高等学校）
「蝦夷地の「平和」とシャクシャインの戦い」
- フィナーレ ポロリムセ（輪踊り）

<第2日目> 9:00～16:00

「シャクシャインの戦いい～縁の地を辿る“巡検ツアー”」

- ・講師 斎藤大朋（新ひだか町教育委員会教育部）

④古式舞踊保存会聞取調査

民族共生象徴空間ウポポイの開設に合わせ、重要無形民俗文化財に指定されている各地域の古式舞踊保存会の演目リスト作成等のため第1弾として8保存会（帶広、阿寒、白糠、釧路、新冠、三石、様似、静内）の聞取調査を実施しました。

(5) 諸民族との交流及び情報交換

①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ（供養祭）など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」－北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：令和元年8月2日（金）11:00～14:30
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」
- ・参加者：140人

「札医大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：令和元年10月2日（水）
- ・場 所：札幌医科大学構内
- ・参加者：100人

○文化理解の促進と伝承活動の活性を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」を開催し、各地に伝わる舞踊や歌、楽器演奏等を一般市民やアイヌ同胞に紹介した。

「芸能交流会」

- ・日 程：令和元年9月23日（月・祝）
- ・場 所：真歌公園広場（新ひだか町静内真歌）
- ・集客、参加人数：250人（13団体）

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：令和2年2月8日（土）～11日（火・祝）
- ・場 所：かでる2・7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 5人

(6) 道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

- ・保守管理業務→設備、備品、資料の保守管理
- ・施設利用に関する業務→利用受付、案内
- ・情報提供に関する業務→資料収集・保管、資料展示室の案内・開設、情報提供
- ・学習事業に関する業務→講習会等の開催、資料提供
- ・管理事業に関する業務→パンフレットの配布、アイヌ文化伝承保存のための普及啓発
- ・利用承認に関する業務→申込書の収受、承認書の交付
- ・災害、事故時対応 →利用者の安全確保、関係機関への連絡通報、応急処置等
- ・各種報告等 →事業報告等
- ・その他 →関係団体との調整等

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

令和元年度アイヌ総合センター学習事業実績

講習名	日程	講師名	延べ人数
アイヌ刺しゅう講習会（初級1）	6月17日、6月24日 7月 1日、7月 8日	宮田初枝	40人 (10人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会（初級2）	9月 2日、9月 9日 9月17日、9月24日	宮田初枝	24人 (6人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会（中級1）	7月22日、7月29日 8月 5日、8月19日、 8月26日	宮田初枝	55人 (11人×5回)
アイヌ刺しゅう講習会（中級2）	9月30日、10月7日、 10月21日、10月28日 11月 5日	宮田初枝	40人 (8人×5回)
アイヌ刺しゅう講習会（勉強会1）	6月20日、6月27日 7月 4日、7月18日	宮田初枝	52人 (13人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会（勉強会2）	8月 1日、8月22日 9月 5日、9月19日	宮田初枝	52人 (13人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会（勉強会3）	10月 3日、10月17日 10月31日、11月14日	宮田初枝	56人 (14人×4回)
合 計			319人

○自主事業等の実施

（自主企画事業）

- ・アイヌ民工芸品（北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品）をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。
- （広報活動等）
 - ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでる広報への施設案内・行事の周知を行った。

（7）人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集に努めた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産生業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、3話の翻訳整理と原稿化。
- 表記法等：（筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳）3編。
- ・民俗技術の調査